

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年1月31日

事業所名:こども発達サポートいっぽ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	設置基準は十分に満たしています。必要に応じて、個別空間を確保できるよう工夫しています。	個別に合わせて訓練していただいているのでありがたいです。	継続して取り組みます。
	2 職員の適切な配置	人員配置基準を順守して行っています。(児童発達支援管理責任者1名、保育士4名、理学療法士1名)		現在の人員配置の中で工夫して支援を行なっていきます。今後増員を予定しております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	情報伝達においては、写真やイラスト・文字などを使用し、本人の理解能力に応じて支援方法を工夫しています。スケジュールボードを設置し、活動の流れを可視化してお伝えしています。		継続して取り組みます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	利用後に清掃を行い、床及び取っ手、玩具などのアルコール消毒も実施しています。ウイルス除去機能の空調と空気清浄機を稼働させ、快適で清潔な空間を保てるように努めています。		継続して取り組みます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティングや会議で日々の支援の振り返りや、支援課題・業務の改善について検討しています。		継続して取り組みます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在行っておりません。		継続して取り組みます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部講師の研修やオンライン研修を活用して資質の向上に努めています。		継続して取り組みます。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用者の現状を把握するため、サービス担当者会議や個別面談により保護者のニーズを把握し、相談支援員とのやり取りで得た情報を加えて計画を作成しています。		継続して取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	必要に応じ、個別・集団での目標設定を行っています。		継続して取り組みます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の現状やニーズに合わせて具体的な到達目標や項目を設定の上、目標達成に向けた課題を分析し、具体的な支援内容を設定しています。		継続して取り組みます。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に基づいた支援を実施しています。状況や必要に応じて計画の変更も行っています。		継続して取り組みます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当職員を中心に相談しながら活動プログラムを決定及び変更を行っています。		継続して取り組みます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇と利用時間が異なるため、普段体験できない活動を計画しています。集団活動や個別活動・グループ学習・運動などのサポートも行っています。	色々な体験ができて飽きっぽい我が子でも楽しく通えていると思います。	継続して取り組みます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	SST、ビジョントレーニング、運動プログラムを中心に、集団行動を通して目標設定を行い、プログラムを立案しています。季節に応じた製作物にも取り組んでいます。長期休暇ではグループワークを取り入れ、全員で同じ目的をもって活動しています。		継続して取り組みます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日のミーティングにて実施しています。		
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	振り返りについては翌日へ引継ぎ、ミーティングや業務日報で情報共有や支援内容の検討などを実施しています。			継続して取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別支援計画に沿った記録を残しています(成長療育支援システムHUG)。必要に応じ、ミーティングや会議で支援の検証や改善を行っています。		継続して取り組みます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半期に一度モニタリングを実施し、計画を見直しています。また、支援状況やご利用者・保護者のニーズに応じて計画の見直し変更を行います。	モニタリングでは丁寧に説明していただき理解しやすいです。	継続して取り組みます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	可能な限り適任者が参加しています。難しい場合は事前に資料作成を行い、情報提供をしています。		継続して取り組みます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	利用を開始される際には、所属されているこども園または学校の担当者、相談支援事業所と情報共有し、支援内容や状況の把握に役立てています。利用中の事業所や学校とも必要に応じて情報共有を行っています。		継続して取り組みます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者なし		必要に応じて取り組みます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	毎月調整会議を実施し、ご利用者の情報共有や利用調整を行っています。オンライン研修も利用しています。		継続して取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していません。		今後検討を重ねていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していません。		今後検討を重ねていく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時や計画更新時・面談の際などに丁寧に説明しています。		継続して取り組みます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画を示しながら丁寧に説明を行っています。		継続して取り組みます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ご利用時にサービス提供記録や口頭で支援方法を伝えたり、保護者から相談があった際にはその都度対応をお伝えしたりしています。また、保護者向けの研修を実施しています。	11月に勉強会に参加し、とても勉強になった。 勉強会など参加したい思いはあるがまだ参加できていない。	継続して取り組みます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	サービス提供記録や送迎の際に、状況や課題について共通理解を得られるように努めています。	送迎時に先生たちとお話できる時間が減ったように思う。	時間を設けられずに対応が不十分であったと反省し、改善に努めていきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	半期に一度実施する面談においても、聞き取りを実施し、必要に応じて助言を行っています。		継続して取り組みます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会・保護者会は設けていません。		継続して取り組みます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	マニュアルに沿い、迅速に苦情への対応を行います。重要事項説明書に苦情担当者や連絡先などを記載し、周知を図っています。	苦情に値することが無いので分からない。	継続して取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々の状態に配慮して伝達を行っています。		継続して取り組みます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	季節ごとにおたより(いっぽ通信)を発行し、活動・行事等を発信しています。	毎度個別にネットで報告頂き分かりやすく楽しみに拝見しています。	継続して取り組みます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	守秘義務を徹底し、プライバシーを保護しています。個人情報の掲載された資料については、鍵付きのロッカーにて保管しています。	活動記録の写真ですが、個人が特定されないようにもう少し配慮して頂けたら嬉しいです。	契約時、カメラ撮影の承諾書にご署名をいただいた上で、サービス提供記録に記載しています。第三者への公開は了承を得たうえで、ご利用者様ごとにご要望を聞き、対応しております。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定し、職員に周知を図っています。保護者への周知については、契約時にお伝えし、必要に応じてその都度行っています。		継続して取り組みます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	テナントビルの消防・避難訓練に職員も参加しています。	災害時の避難経路など避難訓練をして頂けたら嬉しいです。	テナントビルの消防・避難訓練をテナント単位で行えるように計画して実施する予定です。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待や人権擁護について研修を行っています。定期的開催されるので全職員が振り返りや見直しを実施しています。市、県が主催するオンライン研修にも積極的に参加しています。		継続して取り組みます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当者はありません。身体拘束を行う場合は、会議(身体拘束委員会)で決定の上ご利用者・保護者に説明を行い、同意を得たうえで、計画に記載し実施します。		継続して取り組みます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当者はいますが、食事提供をする機会がなく、食材を扱うプログラムを予定する場合には、保護者に確認の上、実施することになっています。		継続して取り組みます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	業務日報に記録し共有・検証を行い、対策について検討していきます。		継続して取り組みます。
保護者様より頂いたご意見・ご返答					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニングや運動、体幹トレーニングなど色々と考えて支援して下さっています。 ・長期休暇では買い物学習でバスに乗せていただきました。他の施設では買い物学習はありますが、バスに乗る練習は初めてでした。とてもいい経験になりました。 ・初めてのことに私たちではなかなかトライするには勇気がいるのでありがたいです。 ・熱などで欠席するときは「えー・・・」と落ち込むくらい毎週楽しみにしています。 ・先生や友達に会えるのが嬉しいみたいでとても楽しみにしています。 ・いつも分かりやすい説明があり写真もあるのでありがたいです。 ・楽しく参加し、活動が心身の成長、本人の自信に繋がっていると感じます。 ・こども園でまだできないと聞いた、鉄棒など、本人が苦手そうなこともお願いできたらと思います。 ・思っている以上のことをしていただいているので満足です。 ・細かい手の動きが苦手なので、遊びの中で取り入れて頂けたら嬉しいです。 				